

オフライン端末 / 組み込み・制御システム向けウイルスチェックツール

ワクチン USB 2

市場における課題 / リスク

オフライン端末や組み込み・制御システムは、重要なビジネスプロセスの一環を構成している反面、ウイルスに対する十分な対策が採られていません。

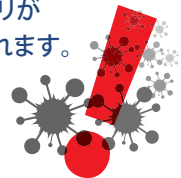
従来のウイルス対策が困難なオフライン端末や組み込み・制御システム

- サポート終了後も使用されているレガシーシステム
- 最新のパターンファイルの更新が行えないネットワークから隔離されたオフライン端末
- システムリソースが限られている組み込み機器

オフライン端末・クローズドネットワークにおけるUSB経由のウイルス感染

ネットワークからのウイルスを遮断しても、プログラム更新やログデータ回収にUSBメモリが使用される場合、USBメモリを媒体としたウイルス感染により、業務への影響が懸念されます。

- FAシステムや制御システムの異常動作による操業停止やインフラの停止
- ATMやPOSなど決済端末のデータ改ざんや情報漏えい



そんな課題を

解決します!!

定期的なウイルスチェックに

インストールレスで外部からウイルス感染をチェックする「ウイルスチェックツール」
ワクチン USB 2 マカフィー社製エンジン搭載

特長

- 自動起動
オートランによりウイルスチェック自動起動
- ログ機能
ウイルスチェックの結果をログとして保存
- 便利なライセンス体系
1本で複数台の端末のウイルスチェックが可能
- 自己感染対策
ウイルスチェック中はリムーバブルディスク領域は常に書き込み禁止



- LED 機能
ウイルスチェック結果を赤と青のLEDで通知
青：ウイルス感染なし
赤：ウイルス感染あり

Win	8.1	8	7	Vista	XP SP2-SP3	server 2008 SP2	server 2008 R2 SP1
	server 2003 SP2	server 2003 R2 SP2	server 2012	XP Emb SP2	Emb 7 SP2	Emb POS Ready7	

※各種使用制限があります。詳細は弊社ホームページをご覧ください。
※Windows XPのサポート期間につきましては、弊社ホームページにて最新の情報をご確認ください。
※日本語OS以外の環境では英語表示されます。

McAfee
OEM Alliance
Partner

1年ライセンスモデル **ULD-VAU21A**

3年ライセンスモデル **ULD-VAU23A**

5年ライセンスモデル **ULD-VAU25A**

ライセンス1年延長パック **ULD-VAU2LRA**

USBメモリを媒体とした感染をシャットアウトする

ウイルスに感染したファイルは保存させない/
プロセススキャン機能で簡易的なウイルスチェックもできる
USB3.0 ウイルス対策機能付USBメモリ
マカフィー社製エンジン搭載

特長

- McAfee 社製ウイルススキャンエンジン搭載
USBメモリに書き込まれるファイルを自動的にウイルスチェック
- プロセススキャン機能
接続した端末で起動中のプロセスをウイルスチェック
- 情報漏洩対策機能
パスワード認証やハードウェア暗号化で情報漏洩対策を実現
- ログ機能
ウイルス検知情報等をログとして保存



スタンダードモデル

HUD-PUVM3A シリーズ

管理者用ソフト対応モデル

HUD-PUVM3M シリーズ

Win	8.1	8	7	Vista	XP SP2-SP3	server 2008 SP2	server 2003 R2 SP2	server 2012
-----	-----	---	---	-------	---------------	--------------------	-----------------------	-------------

Mac OSではウイルスチェック機能は動作しません。

※1:日本語OS以外の環境では英語表示されます。
※2:ソフトウェア自動アップデート機能、ログ保存/出力/閲覧機能、Autorun.inf自動削除機能、オプション設定、コピーガード機能、セキュリティUSBマネージャーの一部機能が動作しません。

McAfee
OEM Alliance
Partner

McAfee 社製 ホワイトリスト型ウイルス対策ソフトウェアとの連携

ワクチンUSB2とウイルス対策機能付USBメモリを含めた3製品で、オフライン端末/組み込み・制御システムのウイルス対策を、より効率的に行うことができます。

ワクチンUSB2はホワイトリスト型ウイルス対策ソフト導入前のウイルスチェックと導入後の端末にコピーされたウイルスの削除に、ウイルス対策機能付USBメモリはウイルスを持ち込まない対策だけでなく、ホワイトリスト型ウイルス対策ソフト導入後の端末のソフトウェアアップデートを安全に行うために利用できます。

準備段階

「ワクチン USB2」で対象端末のウイルスチェック&駆除

導入段階

「McAfee Embedded Control/McAfee Application Control」の導入

導入効果① ウイルスの実行を阻止

ホワイトリスト型技術により実行するアプリケーション、モジュールを制限することで不正プログラム、ウイルスの実行を防止します。

導入効果② パターンファイルの更新不要

パターンファイルの更新が不要なので、パターンファイルの更新が適用されないレガシーシステムでもシステムを防御します。

導入効果③ 管理・運用負荷の軽減

パターンファイルの更新やスキャン作業など、端末の利用者に管理・運用をしてもらう必要がありません。



McAfee 社製 ホワイトリスト型ウイルス対策ソフトウェア McAfee Embedded Control (McAfee Application Control)

運用段階

「ワクチン USB2」：定期的なウイルスチェック

「ウイルス対策 USB」：ウイルスを持ち込まない
対象端末のソフトウェアアップデートツール

「ホワイトリスト型ウイルス対策ソフトウェア」のインストールができない端末は「ワクチン USB2」と「ウイルス対策 USB」で対策を



「ワクチン USB2」

- 「ワクチン USB2」で定期的なウイルスチェック



「ウイルス対策 USB」

- 「ウイルス対策 USB」でウイルスを持ち込まない安全なデータ受け渡し
- 「ウイルス対策 USB」のプロセススキャン機能で簡易的に端末のウイルスチェック



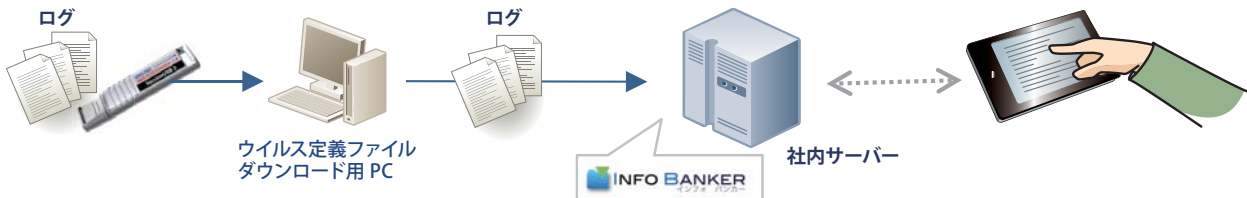
ワクチン USB2/ ウイルス対策 USB のログ集中管理サーバーソフト「Info Banker」

ワクチンUSB/ウイルス対策USBのログデータをデータベース化し、集中管理するサーバーソフトウェア。ウイルス検知したログを受信した場合、指定メールアドレスにメールで通知します。

① ウイルス定義ファイルを更新する時に自動的にログをサーバーに送信

② 送信されたログをデータベース化して管理

③ ブラウザ経由でログの閲覧



ハギワラソリューションズ株式会社

<http://www.hagisol.co.jp/>

名古屋本社 〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦2-5-12 パシフィックスクエア名古屋錦8F
TEL:052-223-1301/FAX:052-223-1303
東京支店 〒102-0081 東京都千代田区四番町6番 東急番町ビル11F
TEL:03-3556-5016/FAX:03-3556-5018
大阪支店 〒541-0044 大阪府大阪市中央区伏見町4-1-1 明治安田生命大阪御堂筋ビル
TEL:06-6223-5011/FAX:06-6223-5012
福岡支店 〒812-0007 福岡県福岡市博多区東比恵3-12-16 東比恵スクエアビル4F
TEL:092-477-8207/FAX:092-477-820

2014年11月発行